

まちづくりトーク  
「町立病院改築基本構想」

答

ため、国の補助金の種類が少

問

具体的に教えてほしい

参加者からの質問・意見

10月15日(木)、16日(金)に「まちづくりトーク」が保健福祉総合センターかみんで開催され、延べ51人が参加しました。

まちづくりトークは、町が新たに取組む施策などについて、町民との意見交換の機会として開催。今回は、町立病院の改築基本構想をテーマに実施しました。



ない。財源の多くは地方債(借金)で賄うことになる。今後基本計画、実施設計のなかで、事業費を精査していく。有利な財源を研究し、町民の負担が少ない計画にしたい。

問

現在の子どもセンターに新病院を建設予定だが、子どもセンターはどうなるのか

答

子どもセンターに集約されている「児童発達支援」と「子育て支援」の2つの機能を分け、発達支援は専門で指導を受けられる施設を確保していく。子育て拠点の施設は、他の公共施設を有効活用しながら環境を整えていく。子育てに関わっている方々とも意見交換をしながら進めていきたい。

問

介護医療院が40床となるがこの計画で足りるのか

答

常時待機者その他の施設に入所している方の状況を踏まえ設定した。

問

ドクターヘリのヘリポートの計画について教えてほしい

答

現在具体策はないが、現在の役場車庫前が良いのか、新病院に機能を持たせることができるのか、基本計画のなかで検討していく。

問

町の洪水ハザードマップでは、建設予定地が水害時に最高50cmの浸水の恐れがあるとされているが、その対策は考えているか

答

浸水の恐れがある地域だと承知している。引き続き災害拠点病院として、町の防災担当と協議しながら、対策は万全にしていきたい。

問

新病院の救急出入口口となる北24号道路の踏切の幅が狭い。救急搬送に支障は

答

市街地を通らず国道に行き来できる利便性を考え設定した。踏切の改修となると多大な事業費などが掛かるため、今後の検討課題としたい。

問

高齢になると交通事故の問題もあり地元到医院があるのは助かる。地元に着した町立病院の建設を進めてほしい

答

町のかかりつけ医の役割を果たすため、地域密着の医療機関として整備していく。

問

病院利用者のほか、地域の方も自由に集える庭など、建物だけでなく、外構のプランについても重視してほしい

答

憩いの場については、将来ラベンダーハイックが移転することも踏まえ、基本計画で検討していく。

問

不具合や非効率だから、十数年後にまた改築するということは無いようにしてほしい

答

専門的なコンサルのほか、現場の医療スタッフの意見も取り入れながら進める。非効率などを理由に将来建て替えることがない計画としたい。

問

町立病院改築に対し、まちづくりトークのほかに町民が意見できる場を設けてほしい

答

今後、基本計画の際にパブリックコメントを実施し、町民の意見を集約したい。

